

各 位

上場会社名	ケル株式会社
代表者	代表取締役社長 高橋 和良
(コード番号)	6919)
問合せ先責任者	取締役管理本部長 矢ヶ崎 晶夫
(TEL	042-374-5810)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年8月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,000	10	10	0	—
今回発表予想(B)	3,134	49	61	32	2.20
増減額(B-A)	134	39	51	32	
増減率(%)	4.5	390.0	510.0	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	3,873	93	109	62	4.20

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,400	41	40	0	—
今回発表予想(B)	6,670	100	109	50	3.38
増減額(B-A)	270	59	69	50	
増減率(%)	4.2	143.9	172.5	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	7,321	19	27	△230	△15.58

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,980	9	10	0	—
今回発表予想(B)	3,114	45	54	25	1.75
増減額(B-A)	134	36	44	25	
増減率(%)	4.5	400.0	440.0	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	3,862	96	107	38	2.58

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,360	41	40	0	—
今回発表予想(B)	6,641	101	108	49	3.31
増減額(B-A)	281	60	68	49	
増減率(%)	4.4	146.3	170.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	7,291	31	39	△269	△18.21

修正の理由

1. 第2四半期累計期間の業績予想

売上高につきましては、工業機器市場及び産業用機器市場向け売上は、企業の設備投資抑制の影響により低調な状況

が続いておりますが、エコポイント制度や地上デジタル放送への移行を控え、デジタルテレビ・受信機、デジタルカメラなどの画像機器市場向け売上が好調に推移いたしました。また、エコカー減税・補助金制度、高速道路料金引き下げ等の効果により、カーナビゲーションシステム、ETC車載器などの車載機器市場向け売上も好調に推移いたしました。これらの結果、第2四半期累計期間の売上高は当初予想を上回る見込みとなりました。

利益面につきましては、売上高が計画を上回って推移したことに加え、労務費・経費の削減、設備投資抑制による減価償却費の削減等の合理化策の成果もあり、当初予想を上回る見込みとなりました。

2. 通期の業績予想

売上高は、工業機器市場及び産業機器市場は今後も厳しい状況が続くものと予想されますが、エレクトロニクス及び自動車市場の生産回復により、画像機器市場、車載機器市場は当面好調な状況が続くものと予想されます。また、遊技機器市場も堅調に推移するものと予想されますので、当初予想を修正いたします。

利益面につきましては、材料価格(金・銅)上昇等の懸念材料はありますが、第2四半期累計期間の業績結果や最近の市場環境の状況等を踏まえ当初予想を修正いたします。

※上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は当社を取り巻く様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上